

「広げよう！防災の輪」～老人クラブ女性部の取り組み～
防災ずきん普及活動

田原市老人クラブ連合会では、「地域と連携」を合言葉に、小学生の登下校に付き添う見守り隊をはじめ、さまざまな活動を行っています。中でも今回は、平成19年に結成された老人クラブ女性部が力を入れて取り組んでいる、防災ずきんの普及活動についてご紹介します。

地域へ広がる防災の輪

女性部が結成された際に、役員の方々が自分たちにも地域のために何かできることはないかと思いついたのが、防災ずきんの普及だったそうです。



▲老人会の研修会だけでなく、地域の防災リーダーなどの研修会でも、防災ずきん作りが行われました



▲防災ずきん作り推進員の、女性部部长・加子八重子さん(写真中:加治町)、女性部副部长・小久保恵子さん(写真左:和地町)、同・杉浦すみ子さん(写真右:赤羽根町)

「災害が起きたときに一番大切なのは、自分の身を自分で守ること」と話すのは、推進員の小久保さん。「回作つたら、誰でも簡単に作れるようになりますよ」と話すのは、推進員の加子さん。「講習会で学んだ老人クラブ会員さんが地域で広めてくれます」と話すのは、推進員の杉浦さんです。

平成20年7月に、防災ずきん作りの推進員による講習会が行われて以降、市内各地で防災ずきん作りの講習会が開催されています。

